

【民法】

〔総則〕

① シンジケート・ローンにおけるアレランジャーの情報提供義務  
(最三小判平二四・一・二七) 道垣内弘人 6

② 信用保証の主債務者が反社会的勢力であったことについて信用保証協会に錯誤があったとして保証契約の無効が主張された事例  
(大阪高判平二五・三・二二) 渡邊博己 10

③ 弁護士への貸金業者に対する、過払金発生の場合にはその返還請求をする旨の記載ある受任通知書に「催告」の効力が認められた事例(上告審としての判断)  
(東京高判平二四・九・二六) 松久三四彦 14

〔債権〕

④ 多種化学物質過敏状態が発症した労働者の使用者に対する損害賠償請求(安全配慮義務違反)  
(東京高判平二四・一〇・一八) 半田吉信 18

⑤ 根保証契約の主たる債務の範囲に含まれる債務に係る債権の譲渡が元本確定期日前になされた場合に譲受人が保証債務の履行を求めることの可否  
(最二小判平二四・一一・一四) 吉田光碩 22

⑥ 将来債権の譲渡後に締結された譲渡禁止特約と四六六条二項ただし書の適用  
 二 譲渡禁止特約付債権を差し押さえた債権者による譲渡無効の主張の可否  
(東京地判平二四・一〇・四) 石田 剛 26

⑦ 弁済期の到来した自働債権と弁済期の定めのある未到

来の受働債権との相殺適状  
(最一小判平二五・二・二八) 久保宏之 30

⑧ 債務整理を委任した弁護士の委任契約上の説明義務  
(最三小判平二五・四・一六) 西島良尚 34

⑨ 借地借家法三八条二項所定の書面が賃借人の認識にかかわらず契約書とは別個独立の書面であることの要否  
(最一小判平二四・九・三三) 小野秀誠 38

⑩ 他人のために管理する専用預金口座に係る預金債権の帰属と信託の成否  
(東京地判平二四・六・一五) 木村 仁 42

⑪ 携帯電話の中途解約条項と消費者契約法九条一号・一〇条違反  
(大阪高判平二四・一二・七) 執行秀幸 46

⑫ 銀行と顧客との間で金利スワップ取引契約をするに際しての銀行の説明義務違反の有無  
(最一小判平二五・三・七) 吉岡伸一 50

⑬ 家賃債務保証会社による建物賃借人の「追い出し」行為につき、会社の不法行為責任及び会社代表者の個人責任が認められた事例  
(東京地判平二四・九・七) 橋本佳幸 54

⑭ 一級建築士によりなされた、分譲マンションの構造計算書の偽装の確認を看過した、設計・監理を請け負った事務所の一級建築士の不法行為責任  
(東京高判平二四・二・二八) 原田 剛 58

⑮ アスベスト関連疾患に罹患した建築労働者に対して、

- ⑩ 国の規制権限不行使の違法を理由とする国賠法一条一項の賠償責任を認めたが、石綿含有建材の製造・販売業者の七一九条責任は否定した事例……………高橋 眞 62  
(東京地判平二四・二二五)
- 〔親族・相続〕
- ⑪ 夫婦の一方が婚姻中に支出して不動産を取得したところ、財産分与を含む離婚判決が確定した後、当該不動

### 【商事法】

- 〔商事法一般〕
- ① 金融商品取引所における上場廃止処分の適法性……………川口恭弘 74  
(東京地判平二四・九・二四)

- ② 虚偽記載等の事実の公表と再生手続開始の申立てが同時にされた場合における金商法二一条の二に基づく損害の額……………白井正和 78  
(最一小判平二四・二二二)

- 〔会社法〕
- ③ 委任契約の解除に伴う補償金の支払いと利益相反取引に基づく取締役の責任……………松尾健一 82  
(福岡高判平二四・四・一〇)
- ④ 濫用的会社分割に対する詐害行為取消権の行使……………

### 【民事手続法】

- ① マンション管理組合の規約上の義務違反に基づく損害賠償請求についての当事者適格の有無(積極)……………青木 哲 102  
(宮崎地判平二四・二・二二)
- ② 詐害防止参加の申出が却下された事例……………河野憲一郎 106

- ⑬ 弁護士である成年後見監督人の善管注意義務違反に対する損害賠償請求及び国家賠償請求並びに被告弁護士 の弁護士賠償責任保険金請求……………平田 厚 70  
(大阪地判支判平二五・三・一四)

- ⑭ 譲渡制限株式の売買価格の算定……………鈴木千佳子 86  
(最一小判平二四・一〇・二二)

- 〔保険法〕
- ⑮ 簡易生命保険契約における保険契約者の認定……………久保田安彦 90  
(大阪地決平二五・一・三一)
- ⑯ 自動車損害賠償保障法一五条所定の保険金の支払を請求する訴訟において、裁判所は、同一六条の三第一項に規定する支払基準によることなく、みずから保険金の額を算定して支払を命ずることができるとした事例……………神 素寛 94  
(東京高判平二四・二・一四)

- ⑰ 当事者が発行社債の引受先を示す社債原簿の文書提出命令に従わなかった場合に、民事訴訟法二二四条一項……………岡田豊基 98  
(最一小判平二四・一〇・二二)

- ⑱ 明示の一部請求の訴えと時効中断……………坂田 宏 110  
(東京地判平二三・一・一一)
- ⑲ 明示の一部請求の訴えと時効中断……………

- ⑳ 当事者が発行社債の引受先を示す社債原簿の文書提出命令に従わなかった場合に、民事訴訟法二二四条一項……………

により、社債引受人に関する相手方の主張が真実と認められた事例……………

林 昭一 114

(東京高判平二四・六・四)

⑤ 全国消費実態調査の調査票情報を記録した準文書が民法二二二条において準用する同法二二〇条四号ロ所定の「その提出により…公務の遂行に著しい支障を生ずるおそれがあるもの」に当たるとされた事例……………

野村秀敏 118

(最三小判平二五・四・一九)

⑥ 経験則上権利の存在を推認し得る間接事実を主張立証したが、事実上の権利推定をするには不十分であると

### 国際私法

① 外国倒産手続の承認申立の競合事例……………

多田 望 134

(東京高判平二四・一・二二)

② 公海上における船内事故に基づく不法行為責任の準拠法……………

野村美明 138

(東京高判平二五・二・二八)

③ 韓国法人に対する義務履行地および不法行為地に基づく国際裁判管轄が認められなかった事例……………

長田真里 142

(東京地判平二四・二・二五)

④ 国籍留保制度(国籍法二二条)の合憲性……………

国友明彦 146

(東京地判平二四・三・三三)

された事例等……………

二羽和彦 122

(東京高判平二四・一・二二)

⑦ 賃料債権の差押えの効力発生後に賃貸借契約がその目的物の賃借人への譲渡により終了した場合において、その後支払期の到来する賃料債権を取り立てることの可否……………

松村和徳 126

(最三小判平二四・九・四)

⑧ 債務整理開始通知の送付が支払停止に当たるとされた事例……………

杉本純子 130

(最二小判平二四・一〇・一九)

私法判例リマックス48 (2014(上)) 裁判所別・年月日順索引 152

文献略語表

判例の符号 154 153